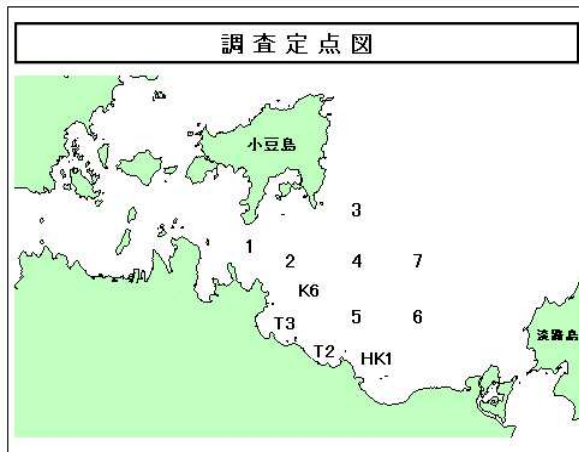


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2016. 5-1号)

香川県水産試験場 龍満  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2016年4月28日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

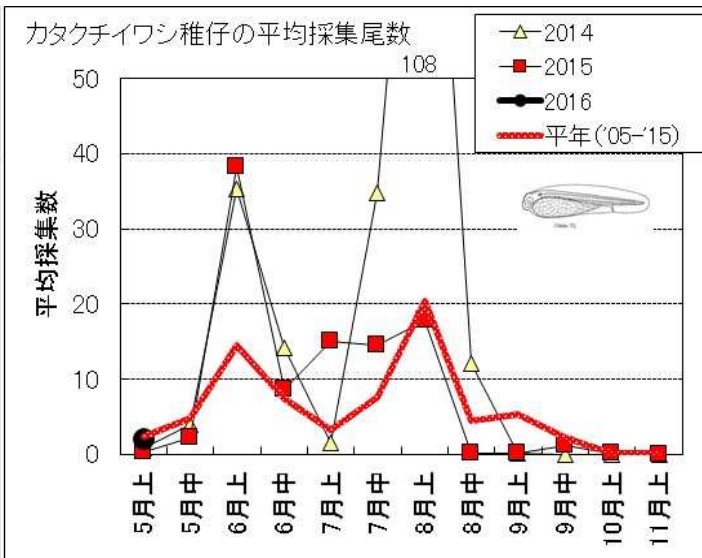
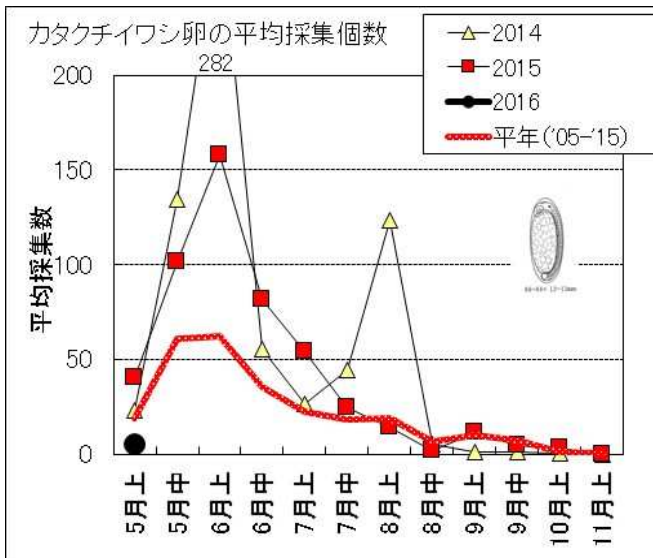


## 【カタクチ卵】 定点別出現数

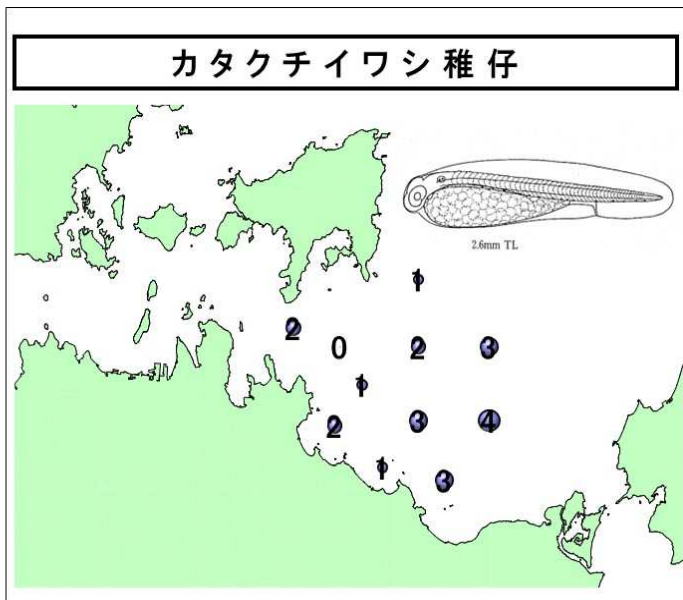
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2014.5.2	0	8	19	148	3	31	46	0	0	0	8	23.9
2015.5.1	46	24	94	89	50	42	60	7	3	2	23	40.0
2016.4.28	0	0	6	8	13	5	1	1	7	14	2	5.2

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2014.5.2	0	0	0	6	1	1	1	0	0	0	0	0.8
2015.5.1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0.4
2016.4.28	2	0	1	2	3	4	3	3	1	2	1	2.0



\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



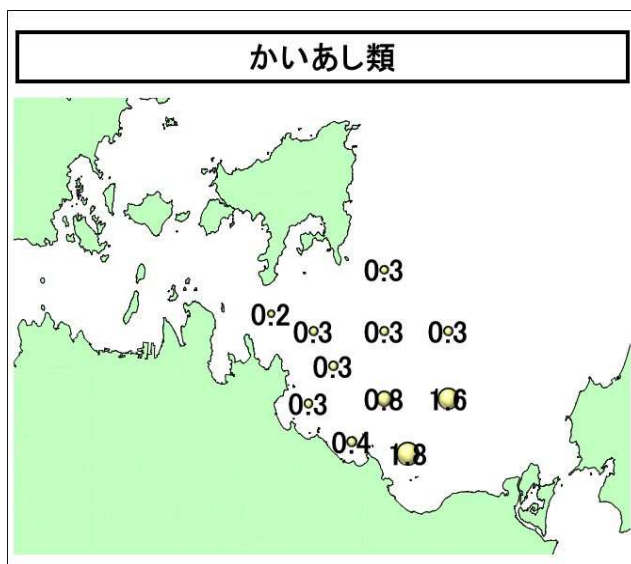
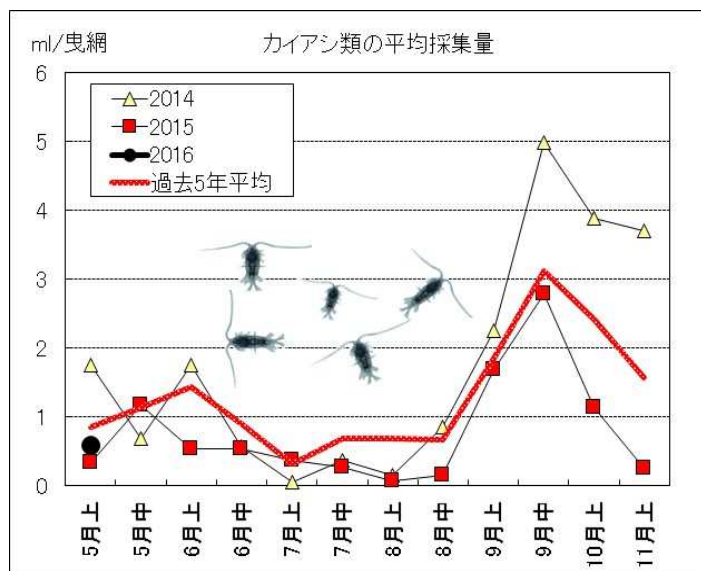
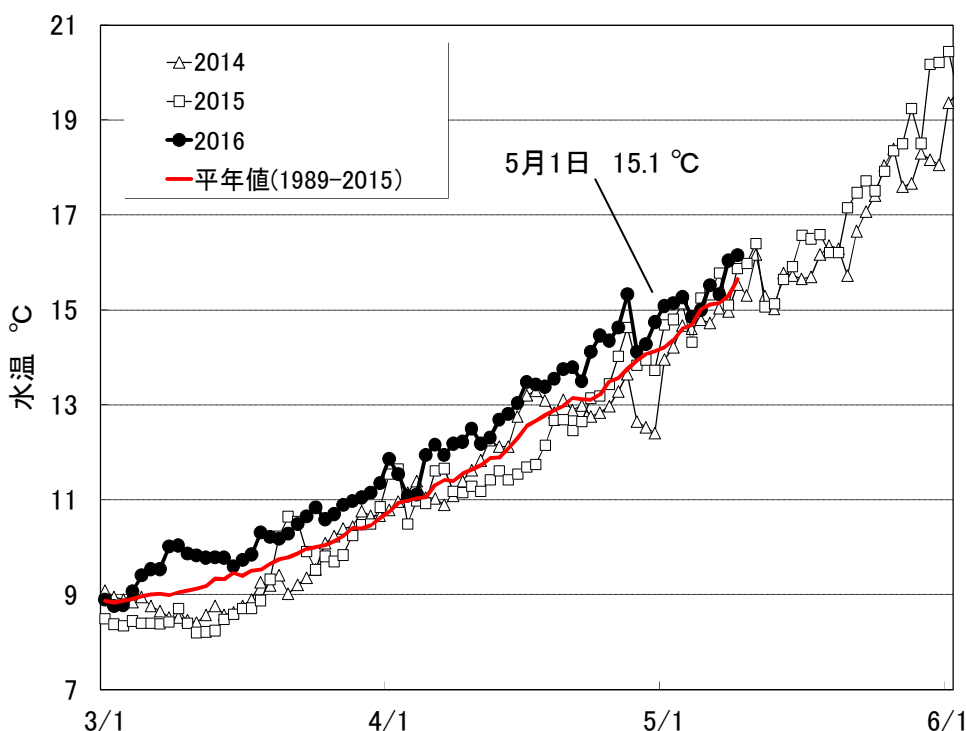
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約5個で、前年および平年の同時期を下回りました。一方、稚仔の平均出現数は約2尾と、この時期としては多めに出現しました。卵、稚仔とも格別に多い定点はありませんでした。

引田沖の水温は平年より高めに推移しており、5月以降、カタクチイワシの産卵開始水温(約15℃)に達しています。

餌料生物として重要なカイアシ類は、比較的少な目ですが、プランクトン採集量に占めるノクチルカ(夜光虫)の割合が大きかった影響も考えられます。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は5月16日に実施予定です。